

計画事業番号	299	事務事業名	姉妹都市交流事業	担当部署	総務部秘書課	電話	3202
--------	-----	-------	----------	------	--------	----	------

【基本情報】

事務区分	自治事務 法定受託事務	根拠法令等	-				
事務事業開始年度	昭和52年度	個別計画等	訪問団の相互派遣事業・「グリーンアスパラ」送付事業				
終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第2章) 人と文化を育むまち	
	(第10節) 交流の促進	
	(施策2) 姉妹都市交流事業の拡充	
2 対象	・北広島市、東広島市の市民 ・広島赤十字原爆病院入院患者、広島原爆療養ホーム入所者	
3 目的と内容	・北広島市、東広島市の郷土祭りに相互訪問することで、行政機関の交流や地域の特性を生かした教育文化、経済など幅広い交流の推進を図る。 ・北広島市を拓いた祖先の地で、今なお原爆症に苦しんでいる方々に、グリーンアスパラを送付することで、都市間の交流の絆を深めると共に、市の成り立ちや戦争の悲惨さを次世代に伝える。	
4 実施内容(手段)	2019年度まで	・「北広島ふるさとまつり」の時期に東広島市からの訪問団の受入れ ・「東広島酒まつり」の時期に東広島市へ訪問団を派遣 ・「広島赤十字原爆病院、広島原爆療養ホームで原爆症に苦しむ方々を励ますため、北広島市及びその近郊で生産された「グリーンアスパラ」を送付
	2020年度	本年度は、姉妹都市締結から40周年に当たるため、昨年同様の事業を行うとともに、広報紙での特集記事掲載やイベント会場での周知、両市の記念品交換などを実施する。

【事業の計画・実績】

2019年度		2020年度	2021年度	2022年度
計画	実績	計画	計画	計画
・「北広島ふるさと祭り」「東広島酒まつり」の相互訪問 ・広島県内の療養施設等にグリーンアスパラを贈呈	・「北広島ふるさと祭り」「東広島酒まつり」の相互訪問 ・広島県内の療養施設等にグリーンアスパラを贈呈	・「北広島ふるさと祭り」「東広島酒まつり」の相互訪問 ・広島県内の療養施設等にグリーンアスパラを贈呈 ・40周年記念広報特集記事を掲載 ・記念品の交換	/	/

【評価結果・評価コメント】

総合判定		次期総合計画に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。	「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	本事業は数値等によって効果が表れる事業では無いが、歴史や郷土をふりかえり、行政、文化などの面でも相互交流が40年にわたり図られており、今後も実施することが大切である。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			1,045		1,216					
事業額	直接事業費	国支出金	0		0					
		道支出金	0		0					
		地方債	0		0					
		その他特財	0		0					
		一般財源	1,045		1,216					
		合計	1,045		1,216					
	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	人数(年間)	0.08	0.00	0.08	0.00				
	1人当り年間平均人件費	8,200	4,500	8,200	4,500					
	= x	656	0	656	0					
総事業費 +			1,701		1,872					

【評価指標】

			単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
活動指標	派遣団員数	目標値	人	4	4		
		実績値		4			
	受入団員数	目標値	人	4	4		
		実績値		4			
グリーンアスパラ発送数量	目標値	kg	138(約1,030人分)	138(約1,030人分)			
	実績値		138(約1,030人分)				
成果指標	東広島市との交流回数 【指標の定義(算式等)】	目標値	回	2	2		
		実績値		2			
	【指標の定義(算式等)】	目標値					
		実績値					
【指標の定義(算式等)】	目標値						
	実績値						

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	交流事業は、市民と市が連携を図りながら実施するものであり、行政が関与することは妥当である。 また、交流においては、政策的な対応を求められることもあり、理事者・議会間の定期的な交流は必要である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	郷土祭りへの相互訪問やアスパラの送付など、事業の継続的な実施により姉妹都市との交流は定着している。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	予算支出のほとんどが訪問団の派遣、受入れの旅費であり理事者・議会間の定期的な交流をねらいとしている。 アスパラの送付については各企業の協力を得て経費削減に努め、送付数量を維持している。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	訪問団の派遣・受入は、これまで4名(市2名・議会2名)で継続実施しており、また、アスパラ送付についても被爆者養護施設、赤十字原爆病院などへ合計138kgを継続して送付している。 現状ではコスト削減等は難しいものとする。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	法律の義務付けあり	法律の義務付けなし
【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	民間等での実施または市民等との協働が可能である。 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。	